

環境情報開示

環境報告書の発行

当社の環境活動を多くの方々にご覧いただくために、平成16年（平成15年度を報告対象期間）から「環境報告書」を作成し、当社ホームページにおいて開示しています。平成18年度からは、環境情報以外の企業としての社会に対する責任（CSR）の内容の拡充に努め、今回（平成19年6月）「CSR報告書」として本冊子にまとめました。

<http://www.keihan.co.jp/csr/>

広報誌「くらしのなかの京阪」の発行

平成18年6月から「京阪電車の環境への取り組み」と題した連載をスタート。防音車輪の採用、ロングレール化の実施など当社の環境への取り組みをPRしています。



大津線における環境活動への取り組み

現在、当社大津鉄道事業部のオリジナル鉄道用品として、エコタイル（再生ゴムチップ舗装材）、ウッディベット（ペットボトル再生品）、ベジクリート（軌道緑化シート）を駅の改良時に積極的に採用しています。これらのメーカーと共同開発した商品のすべてに、当社で研究・改良を加え実用に付しています。

エコタイル

快適・安全で美しい駅づくりを目指して、古タイヤなどの使用済みゴムを有効活用しています。再々生も行えるため、循環して使用でき、環境にやさしい製品です。また、人にもやさしい製品であり、膝に優しいソフトな歩き心地で、雨の日に滑りにくく、高浸水性能があり、転倒時も衝撃が軽減されます。

現在、当社では、浜大津駅、京阪石山駅、皇子山駅などで使用しています。



エコタイル

ウッディベット

ペットボトルを100%リサイクルしたもので、自然な木目調を再現し、高い耐薬品・耐久性能を持ち、木材に比べ難燃性があります。また、腐食や褪色もおおらずメンテナンスも簡単です。

現在、大津線では、浜大津駅コンコース、京阪石山駅ホーム、皇子山駅ホームで使用しています。なお、灰皿、屑箱にも同様に使用しています。



ウッディベット

ベジクリート

ベジクリートは、特殊なネットと不織布に万年草を組み合わせた軌道緑化シートです。設置・施工が簡単なほか、雨水だけで育ち、一定以上背丈が伸びないため、保線や車両への影響もありません。軌道緑化のメリットは、直接的にはCO₂の削減による温暖化対策ですが、夏期には照り返し温度を和らげる効果があり、レールの伸びを抑制できます。大津線では、浜大津駅、京阪石山駅、島ノ関駅に設置しています。



ベジクリート

比良山での取り組み

当社では、滋賀県および同県滋賀郡志賀町（現大津市）と協議しながら、平成16年3月に営業廃止した比良索道（株）当社グループ会社）関連施設を撤去し、エリア一体を施設建設前の自然環境に戻す取り組みを行っています。施設の撤去後に施設建設前の湿原に戻すための工事に取り組みますが、当時の状態を知る人も少なく、過去の写真や資料をもとに地元や行政と協議を行いながら自然再生事業を進めています。工事は平成18年4月から開始しています。なお、元の湿原状態に戻るには相当の歳月がかかるため、工事完了後、自然回復状況のモニタリングを実施する予定です。



八雲ヶ原湿原